

「財政学1 / 日本の財政」 期末試験

1. 以下の文章の空欄を適切な単語で埋めなさい。

日本の財政は大きく国家財政・地方財政・ 1 に分けることができる。国家財政の会計はさらに、おおまかに次の3つに分類できる。第1は、基本的な経費を取り扱う 2 である。第2は、行政効率の向上を図るため、特定の歳入歳出を区分経理するために設けられる 3 である。第3は、特別の法律によって設立され、予算に国会の議決が必要な 4 である。

2 の主要経費別の内訳を見てみると、2004年度当初予算では、 5 費のシェアが24.1%で最も大きい。次いで、 6 ・ 7 がそれぞれ21.4%、18.7%のシェアを占めている。2004年度一般会計当初予算の規模が約 8 兆円程度であるから、国債費は約 9 兆円ということになる。

地方財政の歳出規模は、地方政府が徴収する税や手数料の額よりも大きいため、国家財政から地方財政へ財政移転が行われている。財政移転のルートはおもに3つある。第1は、本来地方の財源とすべきところをおもに徴税上の理由によって国税として徴収したものを地方に配分する 10 である。2004年度地方財政計画では 10 に分類される税は6種類ある。第2は、地方財源の均等化を図り、運営を保障するために国税の一定割合を用途を制限せずに配分する 11 である。 11 の配分額は、 12 と 13 の差によって決められる。第3は、用途を特定して配布する補助金・負担金・補給金・助成金等であり、まとめて 14 と呼ばれる。地方財政の収入の多くの部分はこれらの財政移転に依存しており、地方普通会計で地方税の占める割合は約 15 割程度に過ぎない。地方普通会計の性質別歳出決算を見てみると、 16 費の割合が最も多く、 17 費のシェアが次に大きい。目的別に見ると 18 費が最も多く、2番目に多いのは 19 費である。

1 とは、国の信用・制度を通じて集めた有償資金を貸付や投資活動に配分する政府の公的金融仲介活動をいう。対象分野としては、 20 が行う道路整備のような社会資本整備、国民生活金融公庫や 21 が行う中小企業対策、 22 が行う円借款・貿易・投資金融のような国際協力などがある。 1 機関のなかでもっとも規模が大きいのは住宅ローンを提供している 23 である。 1 の原資は、各機関が発行する 24 、財政融資資金特別会計が発行する 25 と、特別会計の積立金・余裕金等である。かつては 26 資金や年金資金・簡保積立金が財政投融资の原資となっていた。

2. 次の4つのうちから2つ選んで答えなさい。

1. 財政が経済において果たすべき役割を3つ挙げ、なぜそれらの役割が必要なのか、財政がそれらの役割を果たさなければどのような状況になってしまうかについて、具体例を示して論じなさい。
2. 今後、地方債発行残高が基準財政需要の項目として計上されなくなることが検討されており、起債許可制度も改革されようとしている。このような政策変更が、各地方自治体の地方債発行行動にどのような影響を与えると考えられるか。東京都と他の都府県を比較して論じなさい。
3. 道路整備は国や地方が直接建設する場合もあるが、首都高速道路公団等を通じて建設される場合もある。なぜ公団が建設・管理する道路とそうでない道路があるのか、それぞれの道路の特性を明らかにしたうえで理由を論じなさい。
4. 90年代後半以降の財政政策の議論においては、減税や公共投資の乗数効果の大きさが小さくなってきているとの指摘もあった。仮にこの指摘が正しいとした場合、その原因について、「限界消費性向」と「中立命題」という単語を必ず使用して、論じなさい。